

26 更年期障害患者における、ウンカリア・トメントーサ（キャッツクロー）樹皮エキスの投与例について

小濱 隆文
（恵寿総合病院 産婦人科）

ウンカリア・トメントーサ（キャッツクロー：C. C.）樹皮は、その種々のアルカロイドによる免疫増強・消炎鎮痛作用により、種々の癌および感染症、その他様々な炎症疾患に広く使用されている。今回、更年期障害患者に、C. C. エキスを投与し、不定愁訴の改善効果を調べた。

[方法・対象]

患者は、当院婦人科外来における42歳から50歳までの更年期障害患者で、これまでホルモン補充療法、漢方薬・ビタミン剤投与によりすみやかな症状改善の認められなかった患者80名を対象とした。C. C. エキスは、C. C. 樹皮2.5gの熱湯抽出液を一日量とし、一ヶ月間毎日摂取させた。

[結果]

一ヶ月間毎日摂取継続したものは、42例であった。内、改善例は、ほてり6例（6/20）、倦怠感4例（4/15）、不眠5例（5/15）であった。また、便秘改善例が3例認められた。投与期間中、副作用を認めたものはなく、摂取を中断した症例では、嗜好的理由18例、抽出操作の煩わしさ20例であった。

[結論]

従来の更年期障害治療に対して改善の乏しい症例に対しても、C.C.は、ある程度の不定愁訴改善効果があることが示唆された。また、摂取中断例が多かった点において、投与方法の改善の必要性があるものと考えられた。